

新型コロナウイルス感染症対策

奈良県緊急対処措置

経過報告 8.11

令和3年8月11日(水)

知事記者会見資料

## 目 次

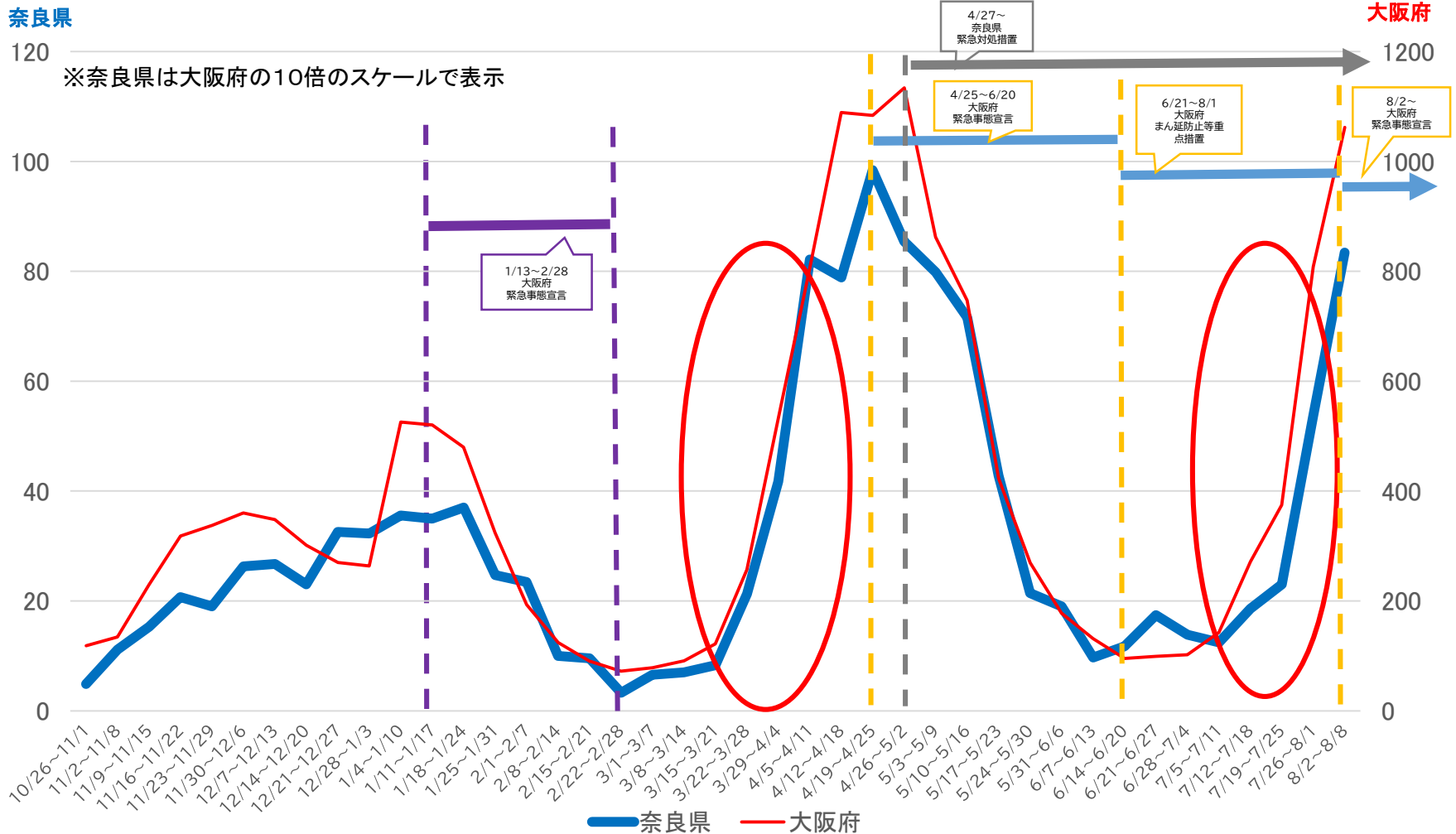
1. 奈良県の感染状況と防止対策
2. 新型コロナ対策医療の強化に努めます
3. ワクチン接種の早期展開を着実に進めます

# 1. 奈良県の感染状況と防止対策

# (1) 奈良県の感染状況

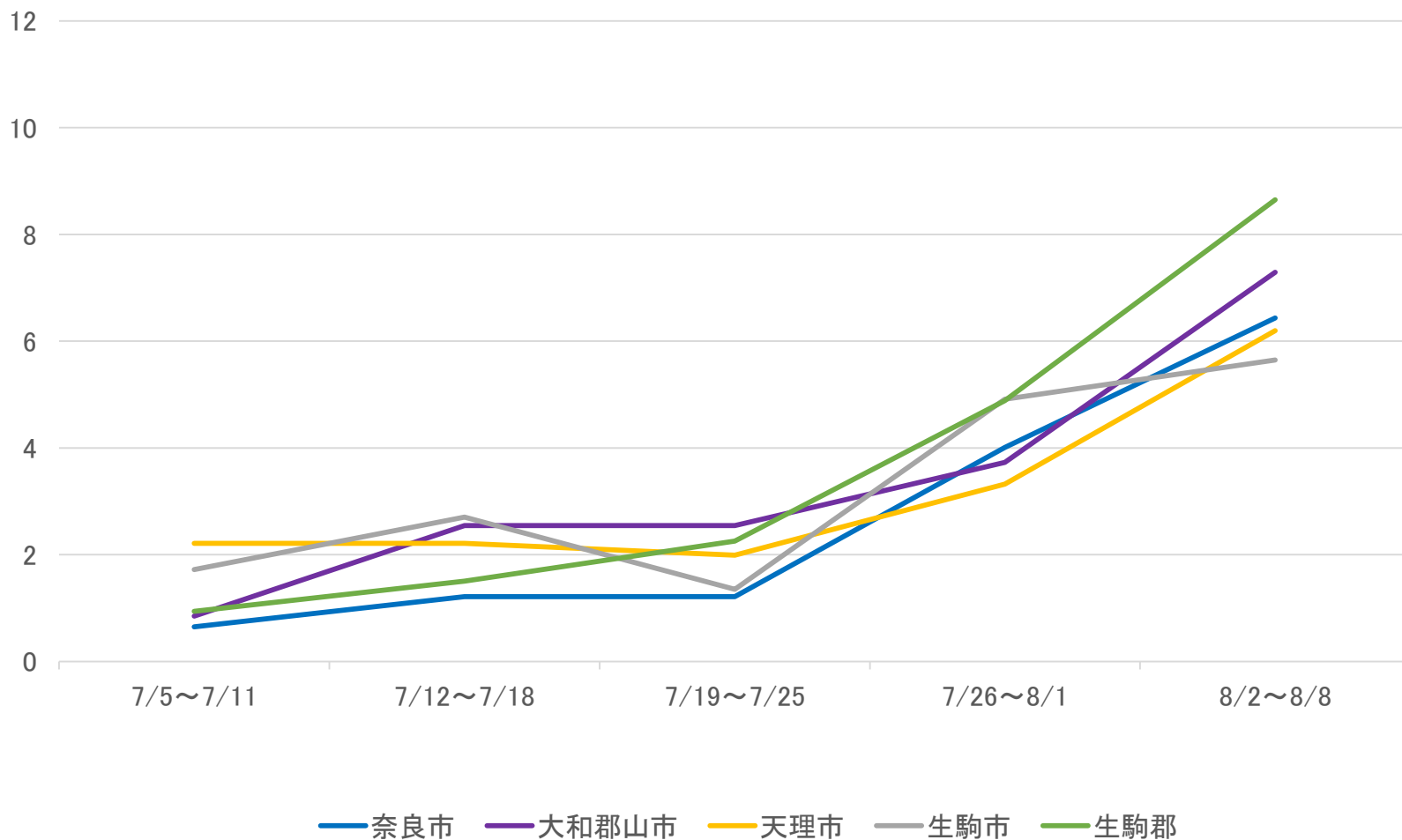
- ・7月中旬以降の新規感染者の急増は**第4波と同様の状況**を示しています。
- ・これをいかに抑えこめるか、お盆の時期が正念場と言えます。

大阪府と奈良県の感染者数の推移(発表週別の1日平均)  
令和2年10月26日～令和3年8月8日



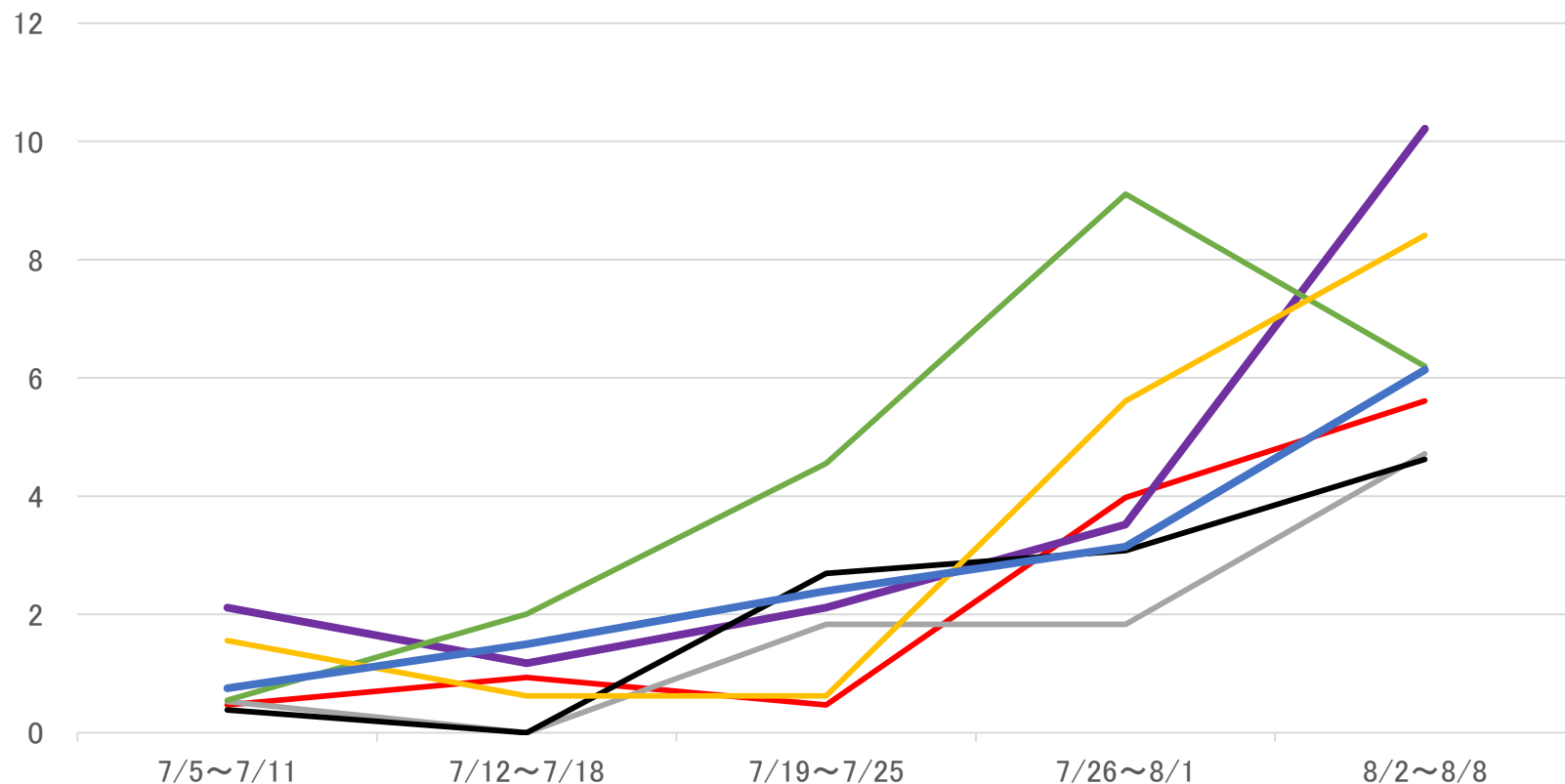
県北西部に位置する奈良市及び郡山保健所管内の主な市郡では、7月中旬以降同じような傾向で感染者数が伸びている状況です。

奈良市及び郡山保健所管内の主な市郡別感染者数の推移  
(人口10万人あたり 発表週別の1日平均)



中和保健所管内の主な市郡別では、7月下旬以降**橿原市の増加が著しい**です。

中和保健所管内の主な市郡別感染者数の推移  
(人口10万人あたり 発表週別の1日平均)

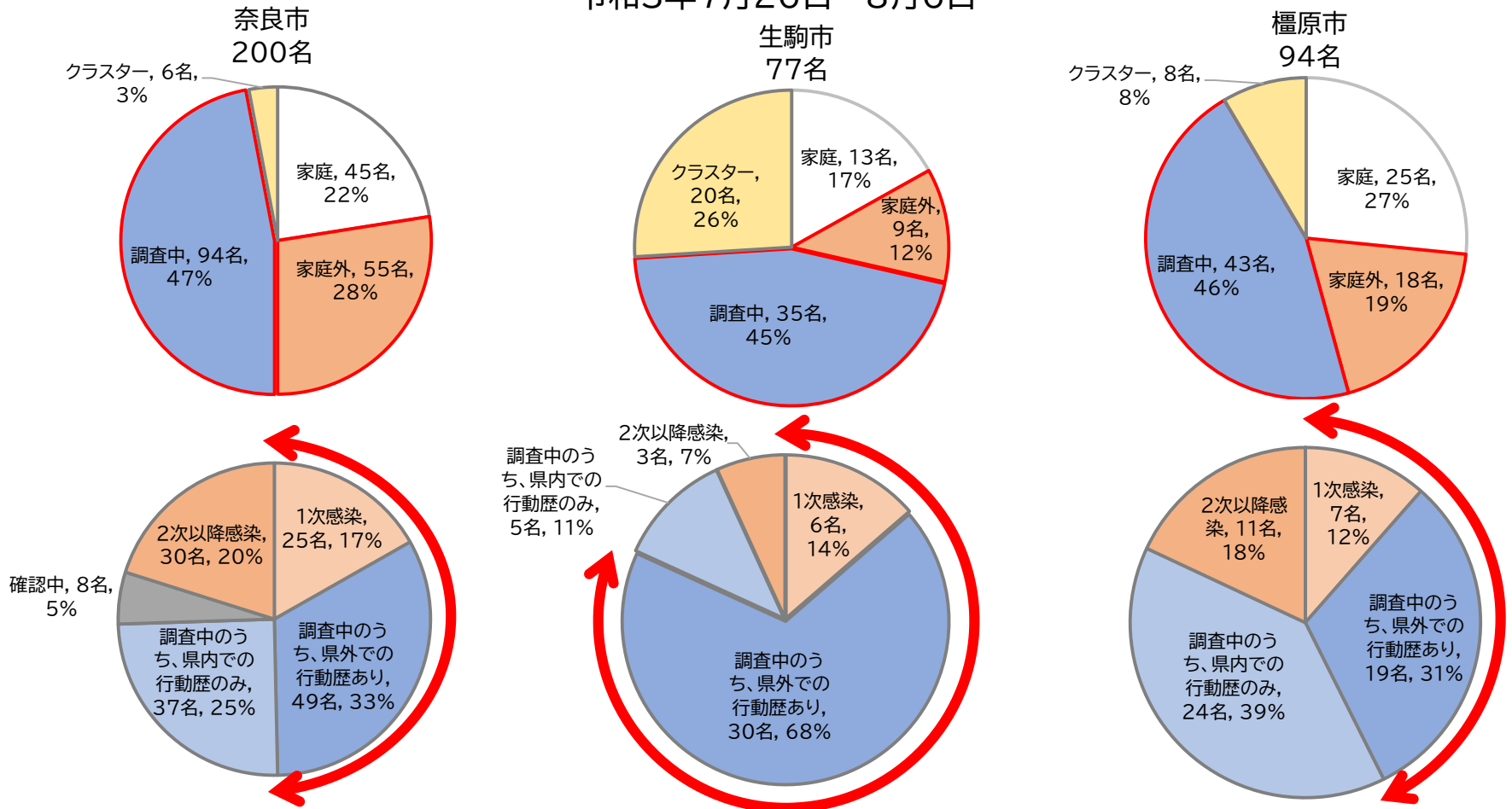


— 大和高田市 — 橿原市 — 桜井市 — 香芝市 — 葛城市 — 磯城郡 — 北葛城郡

# 県内の主要な市における最近の感染状況

まん延防止等重点措置の適用を要望している**奈良市**及び**生駒市**、7月下旬以降感染者が急増している**橿原市**の3市は、いずれも**クラスター**が発生しているほか、調査中案件も含め**県外での行動歴**のある者が多い状況。

令和3年7月26日～8月6日



※調査中案件については、取り急ぎ行動歴を分類したものであり、これにより感染経路を特定したものではありません。

## (2) クラスター対策

8月以降に発生したクラスターは、**病院1件、事業所等3件、飲食店2件。**

※は奈良市所管

発表日	事案	所在地	感染者数	内訳	要因
8月10日	医療機関 (阪奈中央病院)	生駒市	21名	患者15名、職員6名	調査中
8月10日	民間施設	橿原市	14名	利用者10名、スタッフ4名	マスクをしていない時のスタッフと利用者の接触等
8月10日	事業所	橿原市	11名	従業員11名	昼休み等のマスクを外した 飲食・会話等
8月11日	飲食店※	奈良市	9名	利用客8名、従業員1名	接客時のマスク未着用 席の間隔が狭い等
8月11日	飲食店※	奈良市	7名	従業員7名	接客時のマスク未着用 席の間隔が狭い等
8月11日	スポーツチーム※	奈良市	6名	スタッフ4名、選手2名	選手、スタッフの会食



クラスターが発生している業務形態では、今までの経験から、とるべき対策が明らかになっています。

クラスターを防止するためには、

- ・ 基本的な感染防止対策を徹底すること
- ・ 感染を持ち込まないこと が必要です。

クラスターが発生した場合は、

- ・ 当該集団内での更なる感染拡大をくい止めること
- ・ 当該集団内から集団外へ感染が連鎖するのを断ち切ること が必要です。

## 医療機関・福祉施設でのクラスター対策

- ・ 体調不良時は、出勤しない
- ・ 日常の感染予防対策の徹底
- ・ 感染者が発生したら、速やかに関係者全員のPCR検査を実施し、陽性者を隔離
- ・ 汚染区域と清潔区域を明確に区別

## 事業所等でのクラスター対策

- ・体調不良時は、出勤しない
- ・換気、マスクの着用を徹底
- ・十分な距離を取っていないマスクを外しての飲食・会話は避ける
- ・共用部分の消毒を徹底
- ・車での移動時も、こまめに換気
- ・今後の対策のために、保健所による疫学調査にご協力を

## 飲食店でのクラスター対策

- ・体調不良時は、出勤しない
- ・認証制度を活用するなど、適切な感染防止対策を徹底
- ・食事以外のマスクの着用を徹底
- ・多人数、長時間は避け、大声での会話はしない
- ・今後の対策のために、保健所による疫学調査にご協力を

## 飲食店での感染防止策

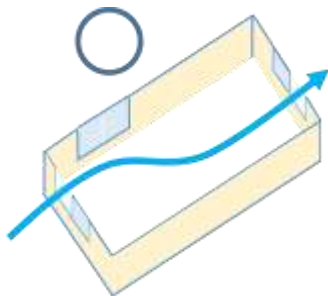
### ① 滞在時間の対策、② マスク着用の対策、③ 設備面での対策を徹底しましょう

#### 利用者へのご注意

- ① 深酒をせず、長時間の滞在は控えてください。  
●体調が悪いときは、外出しない。
- ② 会話のときは、大声を出さず、マスクを着用しましょう
- ③ 換気がよく、座席間の距離も十分に、適切にアクリル板も設置され、混雑していない店を選びましょう

#### 事業者へのご注意

- ① 滞在時間の制限や予約制の活用などにより、同時に多数の人が集まらないようにする(2時間程度目安)。  
●体調が悪い従業員は、休ませる。  
●風邪症状などがある方は、入店をお断り。
- ② 従業員にマスクを適切に着用させるとともに、利用客に対してもマスクを着用するよう周知徹底。
- ③ 30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開するなどして十分に換気。  
パーティションやアクリル板を設ける、間隔をできるだけ2m(最低1m)あけて横並びで座るなど、配置を工夫。  
●手指消毒の徹底、利用客が入れ替わる際に共用物品を丁寧に消毒。



適切な感染防止対策を実施する飲食店・宿泊施設を、県が認証し、紹介する制度をご活用ください。

\*感染拡大防止対策に必要な設備等の導入に要する経費の一部を、県から補助する制度もあります(「奈良県新型コロナウイルス感染防止対策施設認証制度」)。

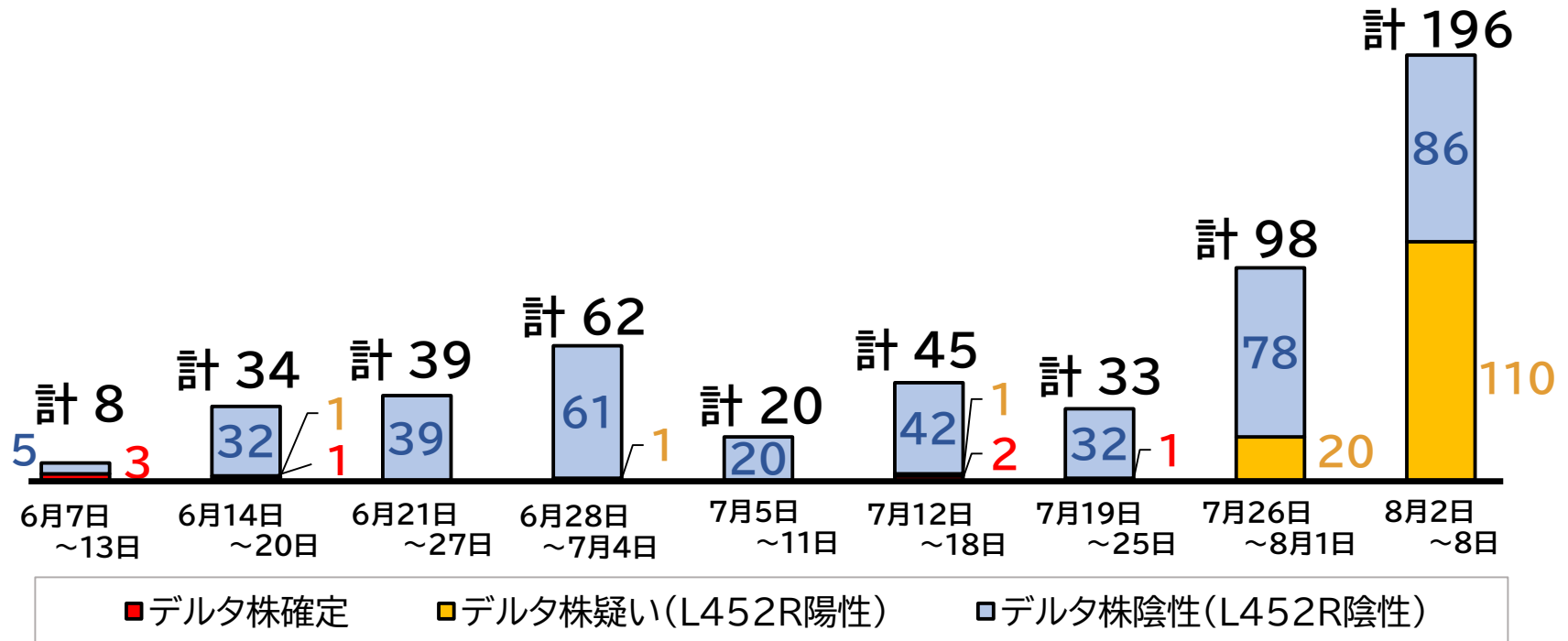
### (3)変異株(デルタ株)の状況

デルタ株が増えてきています。  
デルタ株は感染力が強いとされており、一層の注意が必要です。

#### 奈良県の変異株(デルタ株)の状況

記載の数値(計)は、変異株に関するスクリーニング検査数を示しています

(単位:件)



※件数は、変異株に関するスクリーニング検査を実施した日を基準に集計

※「デルタ株確定」は、国立感染症研究所で遺伝子解析を行い、デルタ株であることが確定した数

※「デルタ株疑い(L452R陽性)」及び「デルタ株陰性(L452R陰性)」は、PCR検査の結果が陽性で、かつ、遺伝子解析が可能なウイルス量を有する検体について、県保健研究センター、奈良市保健所及び民間検査機関でL452R変異に関するスクリーニング検査を実施した数

# 参考

記載の数値(計)は、変異株に関するスクリーニング検査数を示しています

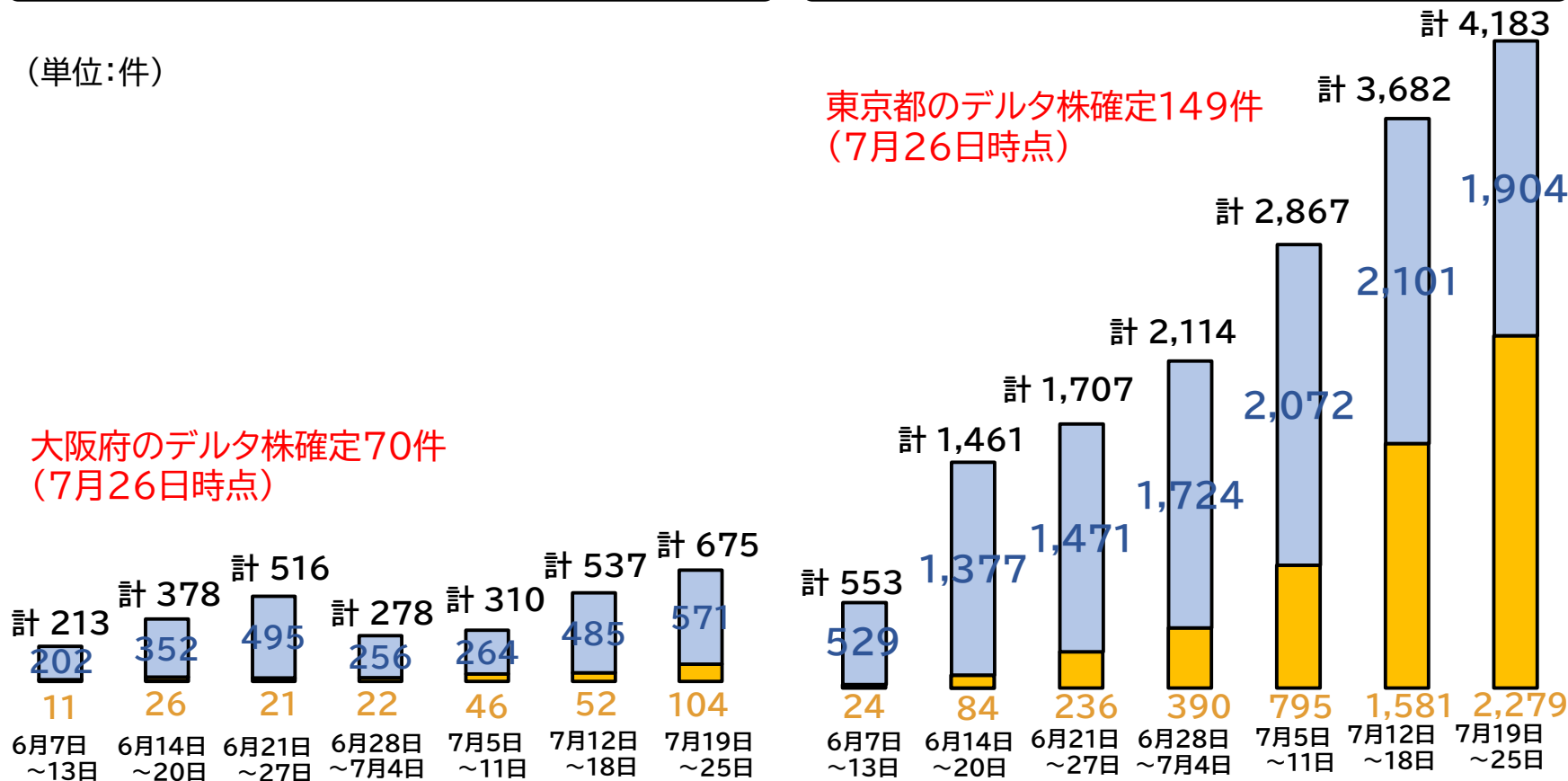
## 大阪府

## 東京都

(単位:件)

大阪府のデルタ株確定70件  
(7月26日時点)

東京都のデルタ株確定149件  
(7月26日時点)



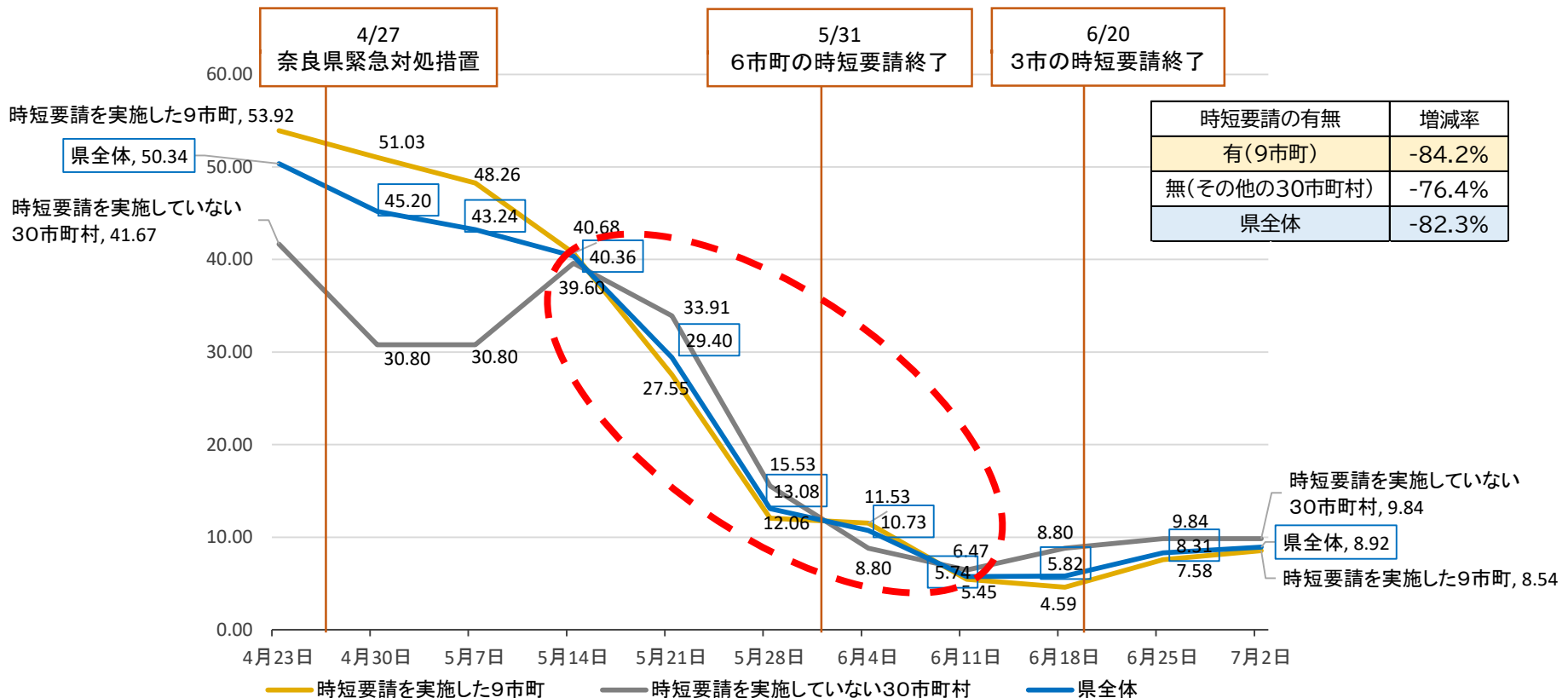
■デルタ株疑い(L452R陽性) □デルタ株陰性(L452R陰性)

- ・デルタ株疑い(L452R陽性)及びデルタ株陰性(L452R陰性)は、厚生労働省資料「変異株スクリーニング検査の実施率・陽性率(機械的な試算)速報値2021年8月2日時点」を用いて作成
- ・デルタ株確定は、厚生労働省資料「都道府県別の懸念される変異株の事例数(ゲノム解析)(HER-SYS)」を引用
- ・週ごとの変異株に関するスクリーニング検査数に対応する大阪府、東京都の「デルタ株確定」数は公表されていない

## (4)時短要請の効果検討

・第4波における人口10万人あたり新規感染者数の減少率は、時短要請を実施した9市町において、**-84.2%**(53.92→8.54)であったのに対し、時短要請を実施しなかった30市町村では**-76.4%**(41.67→9.84)と、いずれも約8割であり、特に5月中旬から6月上旬の間、同じ程度に新規感染者が減少しており、時短要請の有無による顕著な差は見出せませんでした。

新規感染者数の推移(最近1週間,対人口10万人)



\* 時短要請を実施した9市町(時短要請期間): 奈良市(4/28~6/20)、天理市・生駒市(5/1~6/20)、大和郡山市・香芝市・王寺町・広陵町(5/1~5/31)、大和高田市・橿原市(5/2~5/31)

\* 奈良県報道発表数値を基に作成 \* 新型コロナウイルスの潜伏期間1~14日間程度(WHO)。

\* 増減率: (7月2日最近1週間の対人口10万人の新規感染者数÷4月23日最近1週間の対人口10万人の新規感染者数-1)

# 奈良市独自の時短協力支援金支給への県の対応

## ○奈良市の時短協力支援金の内容

### ○対象となる飲食店等

- ・市内で飲食店営業許可を受け、通常20時以降も営業している店舗を有している方
- ・令和3年8月11日(水)から24日(火)の期間中、営業時間を20時までに短縮協力していただいた方
- ・今後も引き続き感染拡大防止に取り組みながら営業して頂ける方  
※市が発行する「感染拡大防止宣言ステッカー」の取得を要件

### ○給付金額

時短に協力頂いた飲食店等に対し、1店舗につき以下の時短協力支援金を支給

令和元年度年間売上高	給付額
3,000万円までの飲食店等	定額 20万円
3,000万円を超え1億円までの飲食店等	定額 40万円
1億円を超える飲食店等	定額 60万円



感染拡大防止への効果が確認できた場合には、県から市への財政支援を検討

## 2. 新型コロナ対策医療の強化に努めます



## (1) 重症対応病床の状況

重症対応病床は、現在(8月10日)、**34床を確保・運用**しています。

7月下旬以降の感染状況を踏まえ、8月7日に、**2床の重症対応病床の運用を再開**しました(32床→34床)。

現在の重症患者数は10名で、占有率は29%となっています。

これまで、奈良県では、**全ての重症患者を重症対応病床で治療**することができています。

# 重症対応病床提供医療機関

令和3年8月10日時点  
(床)

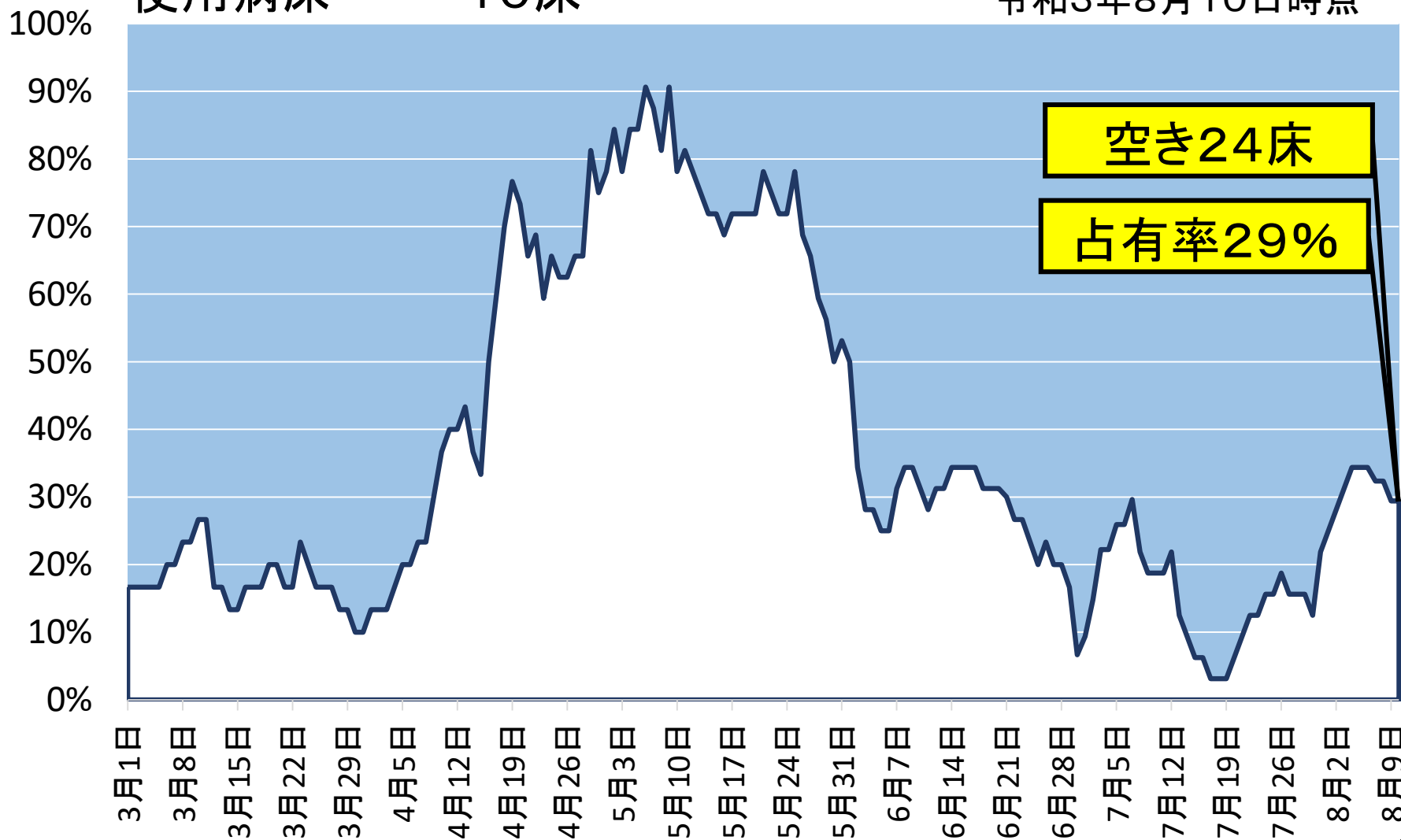
病院名	確保病床	運用病床	
		8月6日以前	8月7日以降
奈良県立医科大学附属病院	14	12	14
奈良県総合医療センター	6	6	6
民間病院 E	6	6	6
南奈良総合医療センター	2	2	2
奈良県西和医療センター	2	2	2
市立奈良病院	2	2	2
大和高田市立病院	2	2	2
計	34	32	34

県立系病院の確保病床 24床／34床 71%

# 重症対応病床の占有状況

重症対応病床 34床(運用)  
使用病床 10床

令和3年8月10日時点



空き24床

占有率29%

## (2) 重症化予防

重症化を予防するため、入院・入所待機者、自宅療養者に**パルスオキシメーター**を貸し出しています。

**宿泊療養施設**において症状が増悪した方に速やかに対応できるよう、休日・夜間を含めて、**医療機関に搬送(入院)**できる体制を構築しています。

また、入院までの間、必要に応じて、宿泊療養施設で一時的に**酸素を投与**することが可能です。

**引き続き**、重症化の予防に努めます。

### (3) 入院病床の状況

入院病床は、**448床**を**確保**しています。

現在(8月10日)の**運用**病床は、**412床**です。

通常医療との両立を図るため、これまで新型コロナウイルス対応病床として確保した448床の一部(71床[うち2床は重症対応病床])を、一時的に**通常医療**に使用してきましたが、この**71床**について、7月下旬以降の感染状況を踏まえ、**新型コロナウイルス対応病床として、順次、運用を再開**しています。

8月13日には、**448床**を**運用**できる見込です。

現在の入院患者数は254名で、占有率は62%となっています。

これまで、奈良県では、**入院・加療が必要な方はすべて入院**していただくことができています。

今後も、入院・加療が必要な方はすべて入院していただけるよう、引き続き、新型コロナ対応病床の**拡充**に努めます。

# 入院病床提供医療機関

令和3年8月10日時点（床）

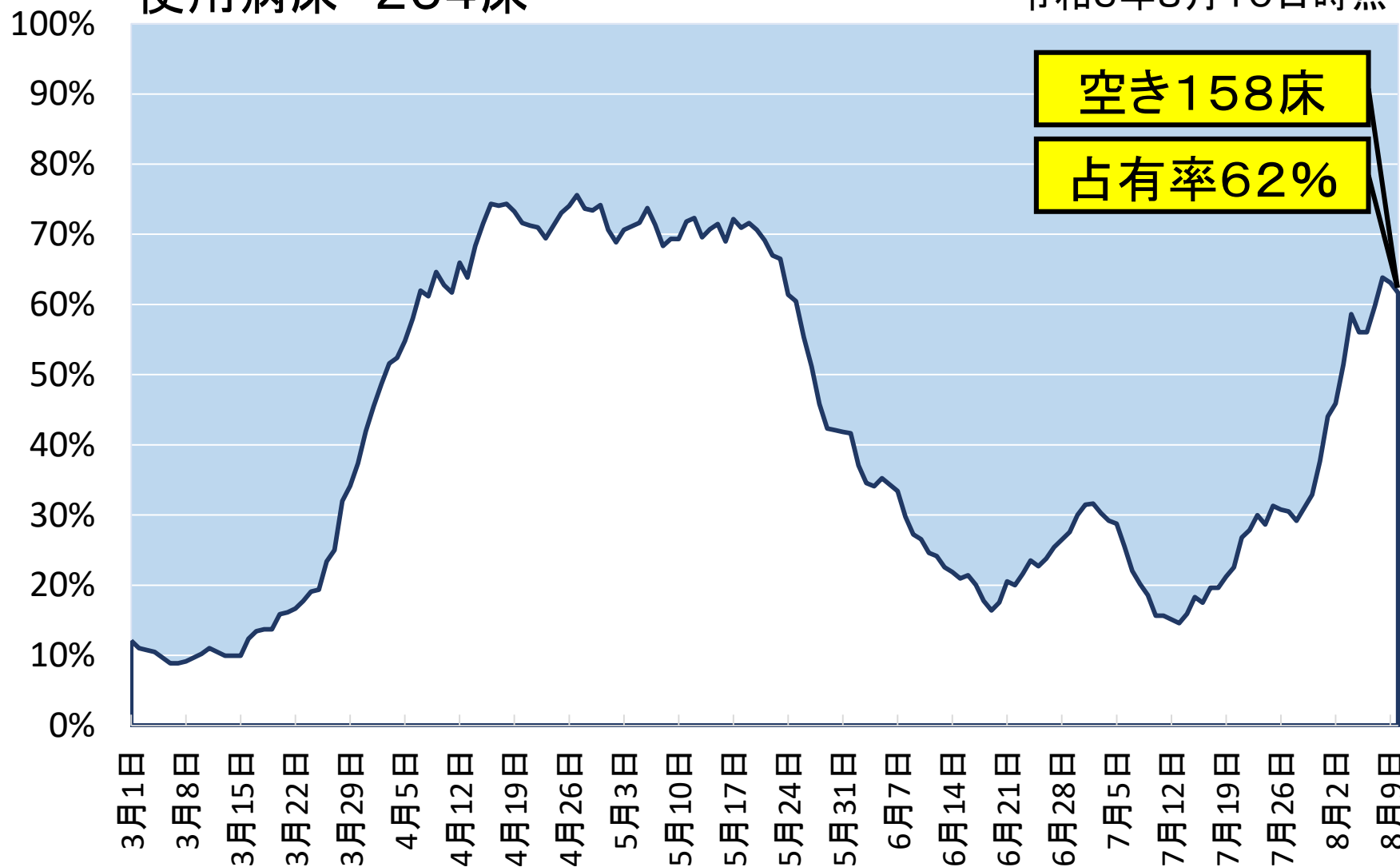
病院名	確保病床	運用病床			
		8月4日以前	8月5日および6日	8月7日から12日（予定）まで	8月13日（予定）以降
奈良県立医科大学附属病院	80	57	57	64	80
奈良県総合医療センター	74	46	74	74	74
南奈良総合医療センター	44	24	24	24	44
奈良県西和医療センター	37	37	37	37	37
市立奈良病院	34	34	34	34	34
(独)国立病院機構 奈良医療センター	34	34	34	34	34
生駒市立病院	16	16	16	16	16
済生会中和病院	15	15	15	15	15
民間病院 A	13	13	13	13	13
大和高田市立病院	12	12	12	12	12
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	12	12	12	12	12
民間病院 B	12	12	12	12	12
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	11	11	11	11
国保中央病院	9	9	9	9	9
済生会奈良病院	6	6	6	6	6
民間病院 C	6	6	6	6	6
民間病院 D	6	6	6	6	6
民間病院 E	6	6	6	6	6
宇陀市立病院	5	5	5	5	5
民間病院 F	5	5	5	5	5
民間病院 G	5	5	5	5	5
民間病院 H	2	2	2	2	2
民間病院 I	2	2	2	2	2
民間病院 J	2	2	2	2	2
計	448	377	405	412	448

県立系病院の確保病床 235床／448床 52%

# 入院病床の占有状況

入院病床 412床(運用)  
使用病床 254床

令和3年8月10日時点



空き158床  
占有率62%



## (4) 宿泊療養施設の状況

宿泊療養施設は、**6施設711室**を提供しています。

現在の入所室数は331室で、その占有率は47%となっています。

引き続き、新たな宿泊療養施設の確保に努めます。

## 宿泊療養施設

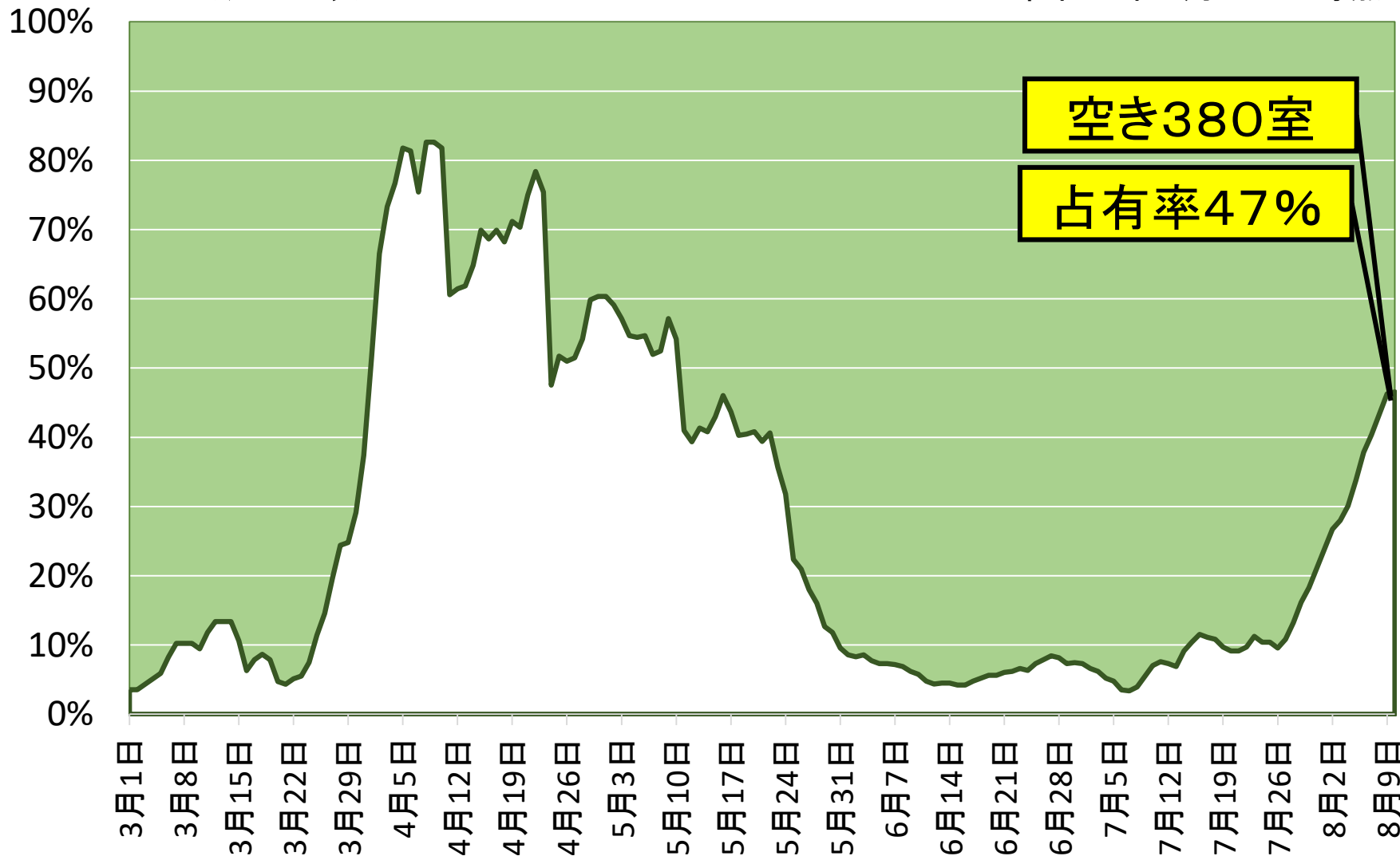
令和3年8月10日時点  
(室)

施設名	運用室数
東横INN奈良新大宮駅前	113
(旧) ホテルフジタ奈良	86
ビジネスホテル大御門	53
グランヴィリオホテル奈良-和蔵-	166
スマイルホテル奈良	148
奈良ワシントンホテルプラザ	145
計	711

# 宿泊療養施設の占有状況

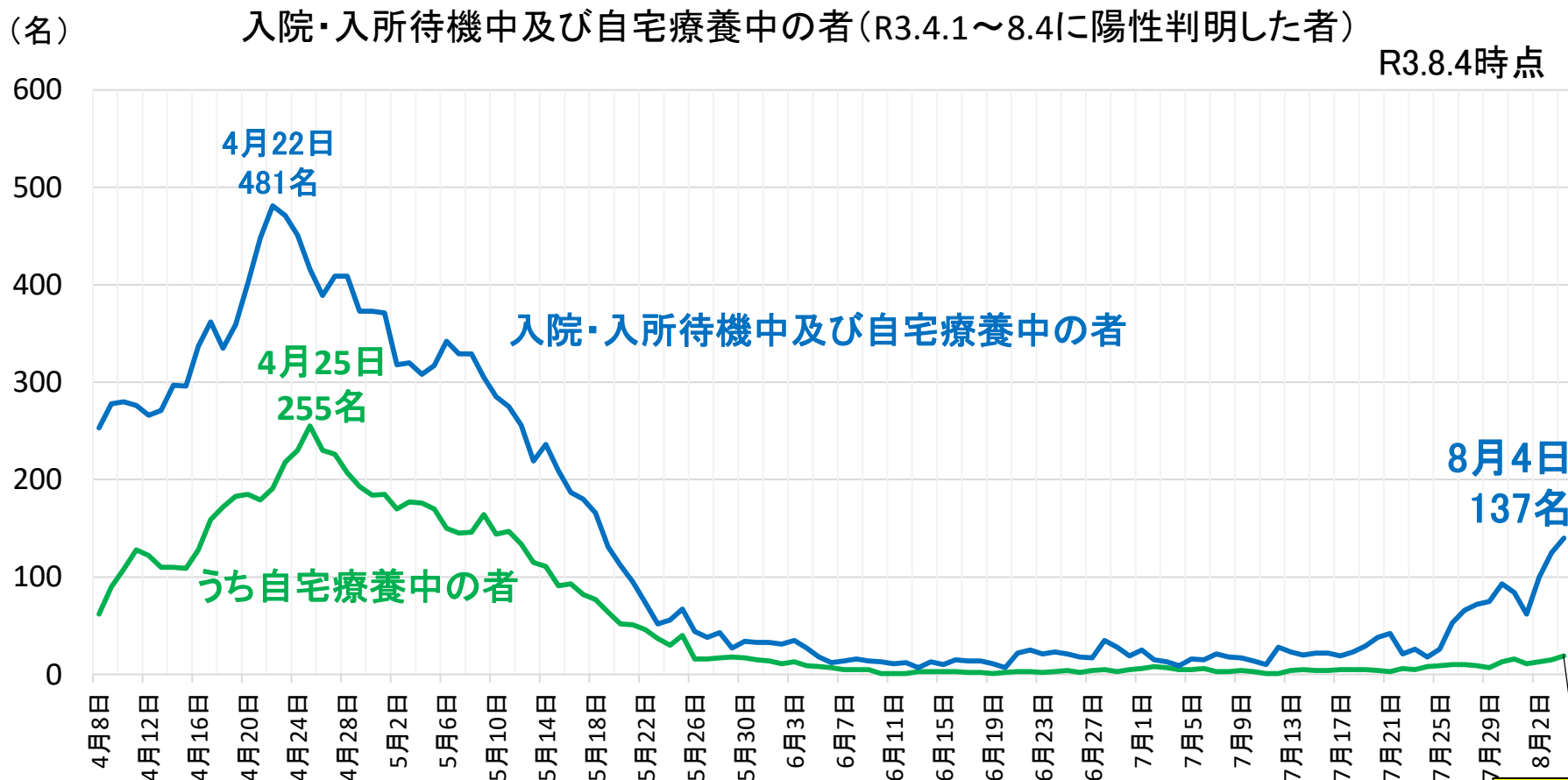
運用室数 711室  
入所室数 331室

令和3年8月10日時点



## (5) 入院・入所待機中、自宅療養中の感染者の状況

自宅での待機期間が3日を超える自宅療養者の数は、8月4日時点で、16名です。



※陽性判明時に死亡の方を集計から除外しています。

※陽性が判明した場合、医療機関から保健所へ発生届が提出され、本人への聞き取りのうえ報道発表しています。

また、治癒判定から治癒の報道発表までに時差が生じる場合があります。このため、日々の報道発表の情報と差異が生じます。

※自宅療養とは、自宅での待機期間が3日を超える方です。

16名

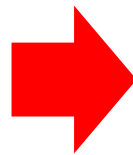
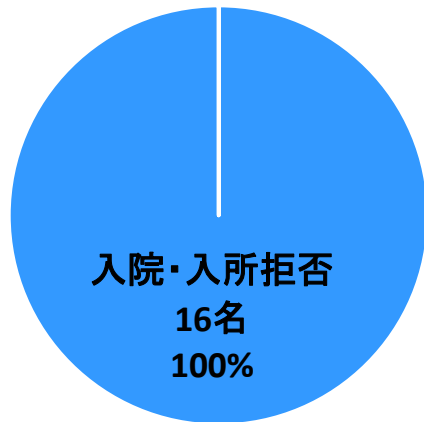
自宅療養中の感染者16名(8月4日時点)は、  
全員が入院・入所拒否です。

自宅療養者は実質的に「ゼロ」の状態です。

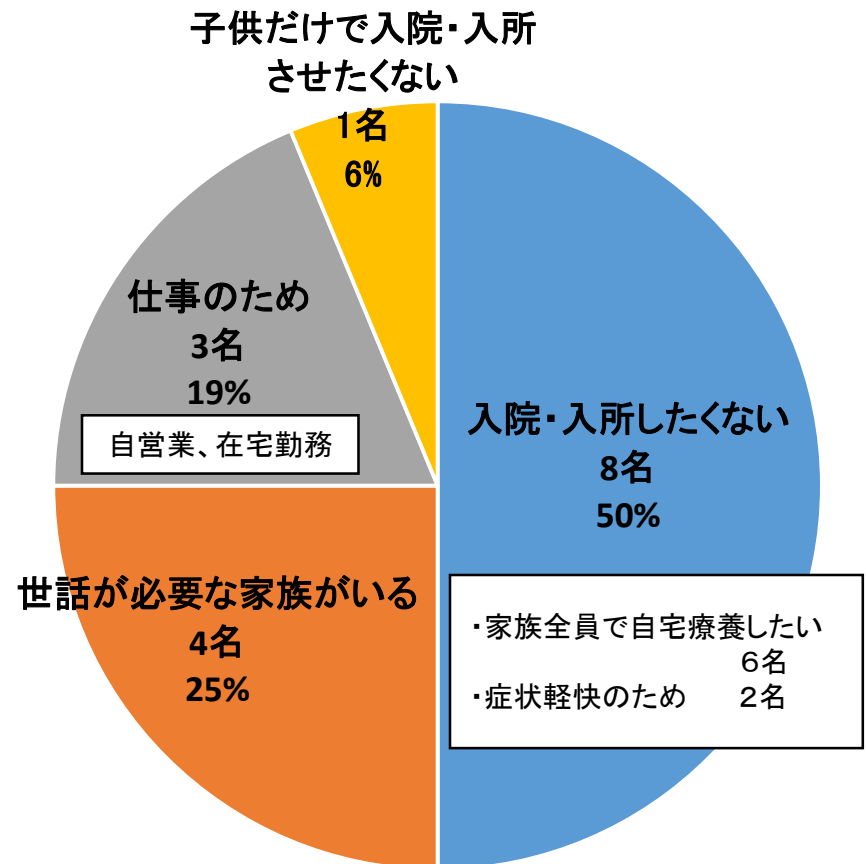
奈良県では、引き続き、自宅療養者「ゼロ」を堅持し  
ていきたいと考えています。

入院・入所拒否の内訳は、「入院・入所したくない」や「世話が必要な家族がいる」等となっています。

「自宅療養者」16名の内訳



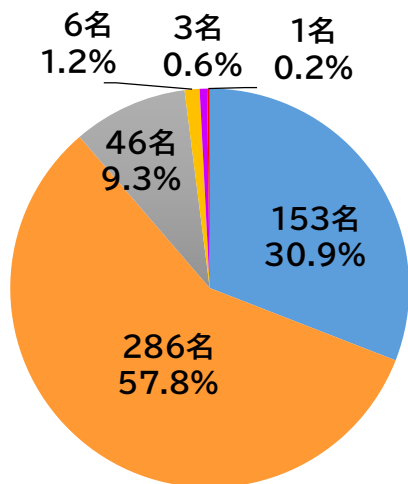
「入院・入所拒否」16名の内訳



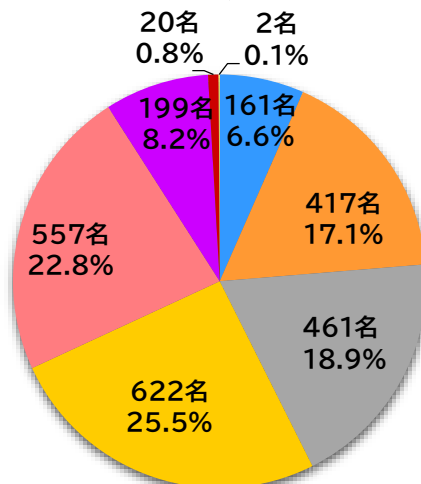
# これまでの入院・入所待機者、自宅療養者の状況

R3.8.4時点

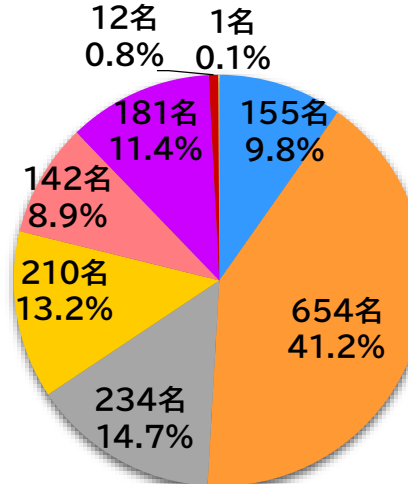
R3.3.1～3.31陽性判明者



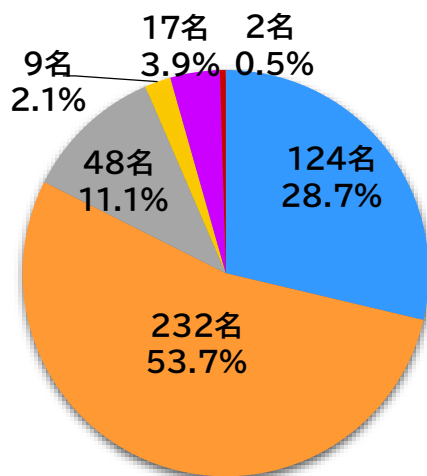
R3.4.1～4.30陽性判明者



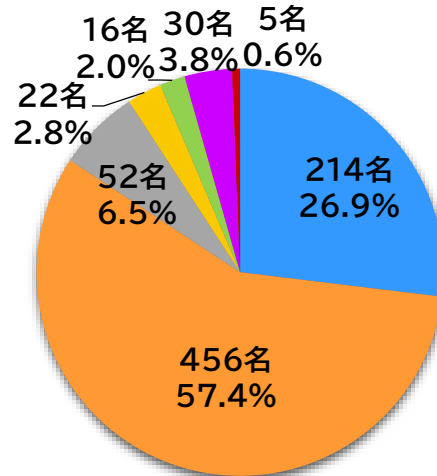
R3.5.1～5.31陽性判明者



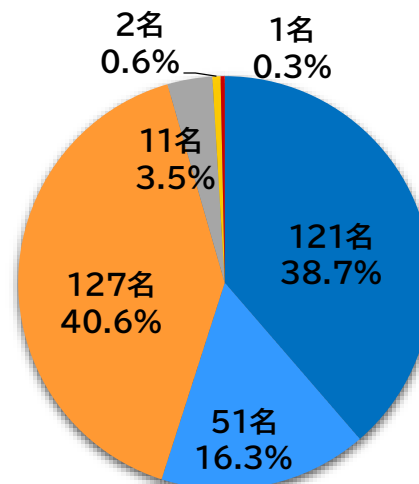
R3.6.1～6.30陽性判明者



R3.7.1～7.31陽性判明者



R3.8.1～8.4陽性判明者



- 入院・入所待機中
- 当日入院・入所
- 翌日入院・入所
- 翌々日入院・入所
- 3日目以降入院・入所
- 自宅療養中
- 自宅療養にて治癒
- 拒否にて治癒
- 陽性判明時に治癒
- 新型コロナ対応病院に入院せず、もといいた病院・施設で死亡

※陽性判明時に死亡の方を集計から除外しています。

※陽性が判明した場合、医療機関から保健所へ発生届が提出され、本人への聞き取りのうえ報道発表しています。

また、治癒判定から治癒の報道発表までに時差が生じることがあります。このため、日々の報道発表の情報と差異が生じます。

※自宅療養とは、自宅での待機期間が3日を超える方です。

## (6) 入院・入所待機者、自宅療養者に対する健康管理の充実

### パルスオキシメーターの貸出

入院・入所待機者、自宅療養者に、パルスオキシメーター(※)を貸し出しています。これにより、自宅で肺の機能を評価できるようになります。

※指先に装着し、血中の酸素飽和濃度を測定する機器



### ICTを活用した健康状態の確認

国のシステム(HER-SYS)を活用し、患者自身のスマホ入力による健康観察(健康状態の確認)を導入しています。

### 看護師が電話対応する相談窓口

入院・入所待機者、自宅療養者の健康状態等についての電話相談体制を充実しています。



## (7) お盆の新型コロナウイルス感染症に関する受診相談

発熱などの症状がある場合は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない場合は、**新型コロナ・発熱患者受診相談窓口**に電話相談してください。

### 新型コロナ・発熱患者受診相談窓口

電話番号 0742-27-1132

FAX番号 0742-27-8565

対応時間 24時間(平日・土日祝)

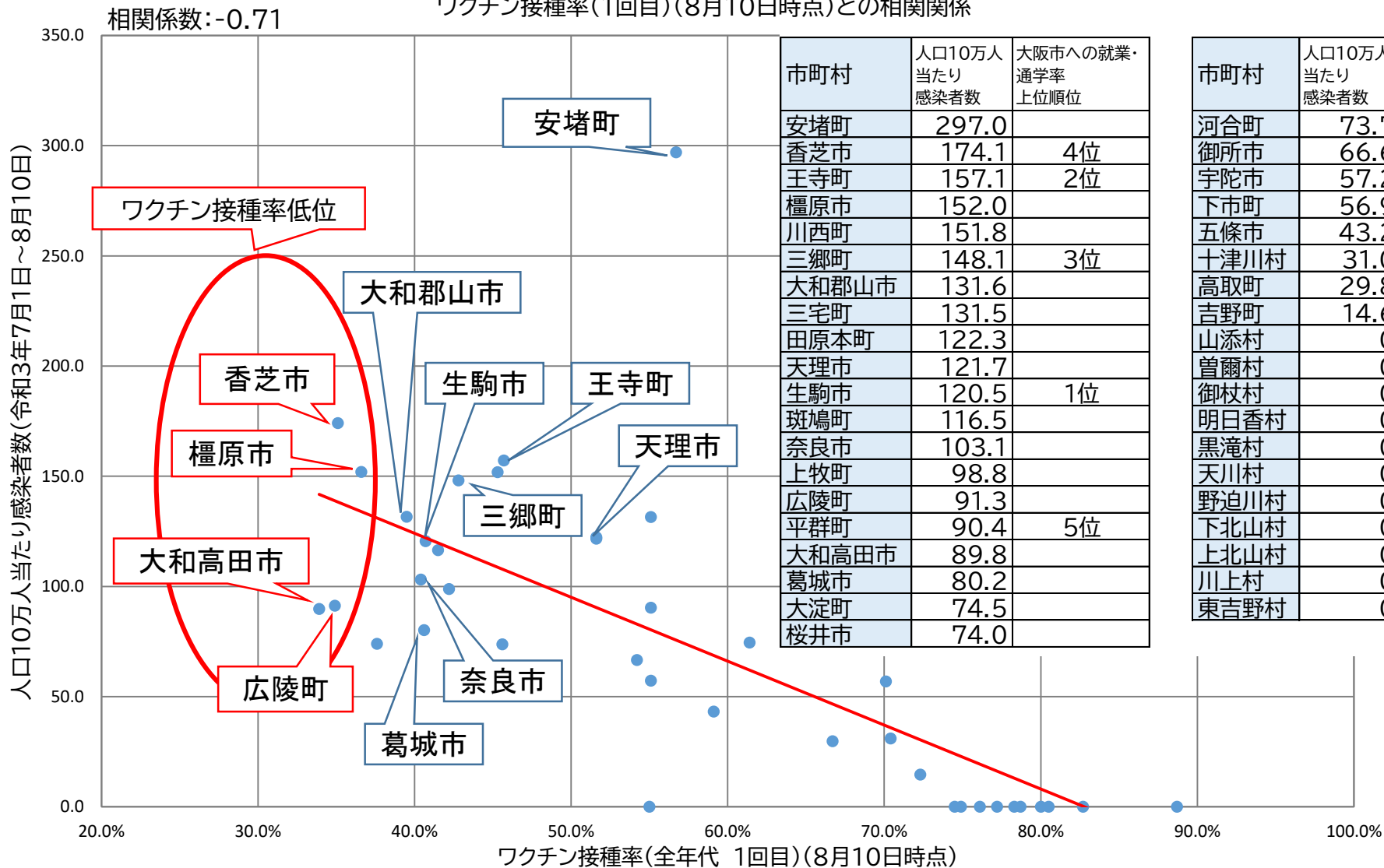
3. ワクチン接種の早期展開を着実に進めます

ワクチン接種が進むにつれ、接種率と人口10万人当たり感染者数との相関関係はより顕著になっています。

接種率8月1日時点の相関係数:-0.64 → 接種率8月10日時点の相関係数:-0.71

## 県内市町村

人口10万人当たり感染者数(令和3年7月1日～8月10日)と  
ワクチン接種率(1回目)(8月10日時点)との相関関係



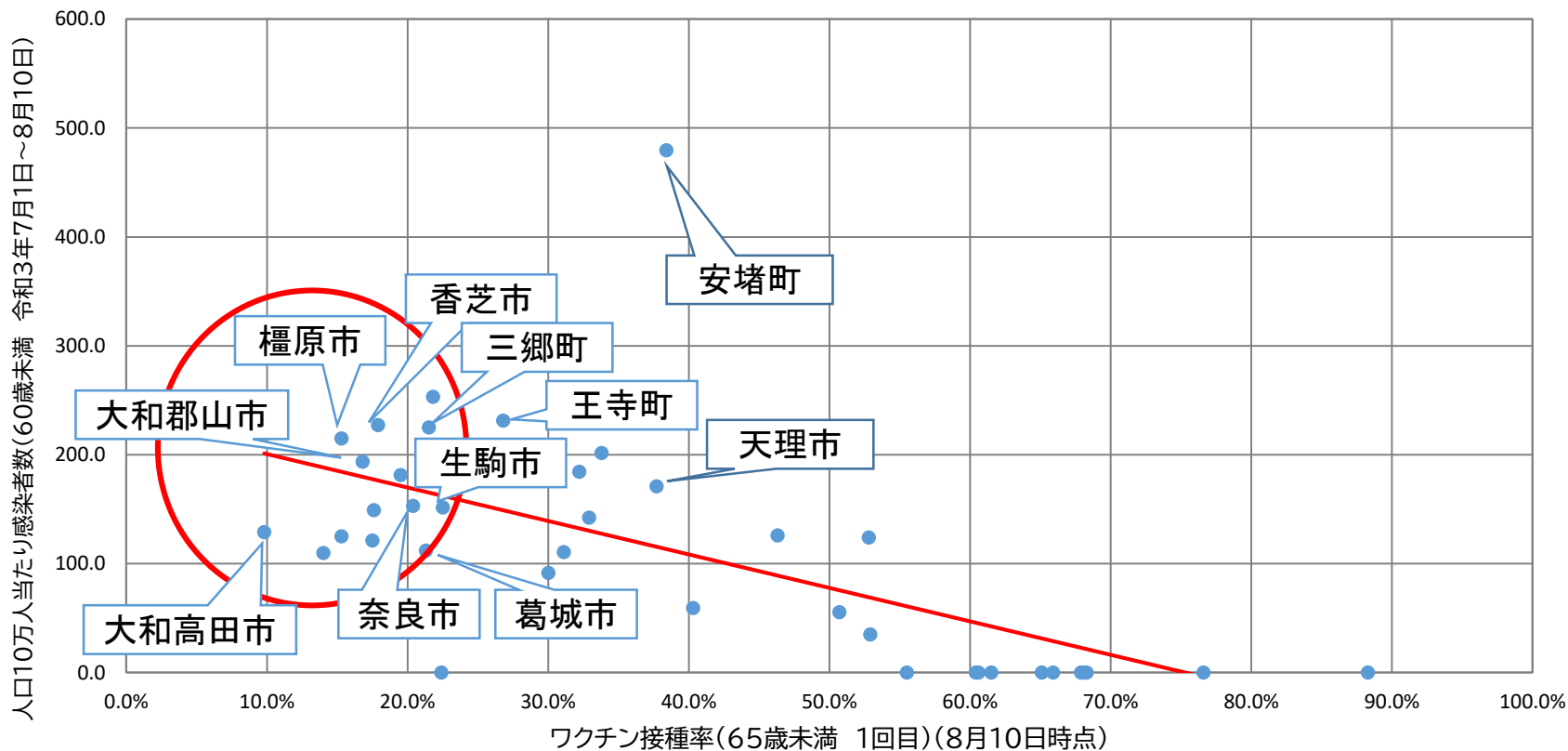
※人口:「令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口」より引用  
※大阪市への就業・通学率:平成27年国勢調査をもとに奈良県で算出

65歳未満のワクチン接種率が低い市町村は、60歳未満の感染者数が多い傾向にあります。

## 県内市町村

相関係数: -0.63

人口10万人当たり感染者数(60歳未満)(令和3年7月1日~8月10日)と  
ワクチン接種率(65歳未満 1回目)(8月10日時点)との相関関係

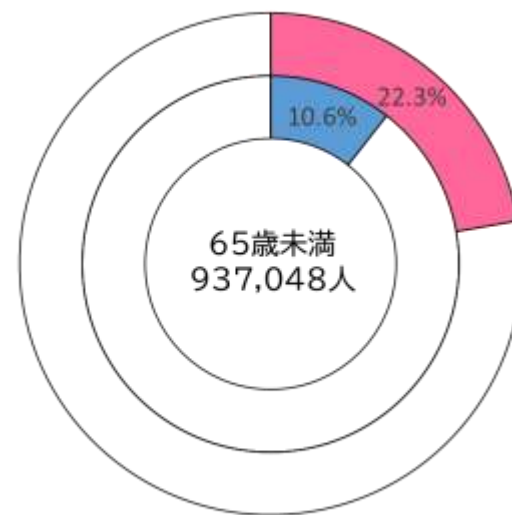
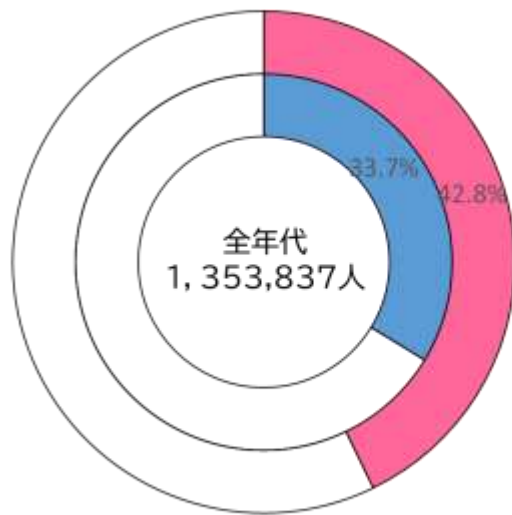


※人口:「令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口」より引用  
※大阪市への就業・通学率:平成27年国勢調査をもとに奈良県で算出

# ワクチン接種状況（8月10日現在）【県全体】

全年代人口	1,353,837人
1回目接種済者数	579,855人
1回目接種率	42.8%
2回目接種済者数	456,456人
2回目接種率	33.7%

65歳未満人口	937,048人
1回目接種済者数	208,570人
1回目接種率	22.3%
2回目接種済者数	99,113人
2回目接種率	10.6%



1回目接種済者

2回目接種済者

※上記は、ワクチン接種記録システム（VRS）の数字を集計したものです。

# 市町村別全年代ワクチン接種済者数（8月10日現在）

	全年代人口 A	1回目 接種済者数		2回目 接種済者数		全年代人口 A	1回目 接種済者数		2回目 接種済者数		
		B	接種率	D	接種率		B	接種率	D	接種率	
			B/A C		D/A E			B/A C		D/A E	
大和高田市	64,580	21,907	33.9%	18,999	29.4%	宇陀市	29,737	16,387	55.1%	14,384	48.4%
広陵町	35,059	12,238	34.9%	10,738	30.6%	平群町	18,795	10,360	55.1%	8,785	46.7%
香芝市	79,272	27,854	35.1%	20,203	25.5%	安堵町	7,407	4,197	56.7%	3,175	42.9%
橿原市	121,736	44,602	36.6%	34,583	28.4%	五條市	30,107	17,808	59.1%	12,432	41.3%
桜井市	56,784	21,377	37.6%	18,083	31.8%	大淀町	17,456	10,723	61.4%	7,798	44.7%
大和郡山市	85,871	33,931	39.5%	28,810	33.6%	高取町	6,722	4,481	66.7%	2,928	43.6%
奈良市	356,027	143,782	40.4%	112,836	31.7%	下市町	5,277	3,697	70.1%	3,107	58.9%
葛城市	37,393	15,193	40.6%	11,915	31.9%	十津川村	3,224	2,270	70.4%	1,498	46.5%
生駒市	119,483	48,640	40.7%	37,261	31.2%	吉野町	6,868	4,963	72.3%	4,100	59.7%
斑鳩町	28,338	11,760	41.5%	9,477	33.4%	天川村	1,373	1,023	74.5%	1,006	73.3%
上牧町	22,277	9,410	42.2%	7,364	33.1%	黒滝村	702	526	74.9%	365	52.0%
三郷町	22,957	9,822	42.8%	8,770	38.2%	明日香村	5,544	4,218	76.1%	3,989	72.0%
川西町	8,565	3,877	45.3%	3,600	42.0%	曾爾村	1,427	1,102	77.2%	683	47.9%
河合町	17,631	8,044	45.6%	6,416	36.4%	川上村	1,361	1,066	78.3%	1,045	76.8%
王寺町	24,196	11,058	45.7%	7,977	33.0%	下北山村	884	696	78.7%	684	77.4%
天理市	64,895	33,483	51.6%	23,147	35.7%	東吉野村	1,717	1,373	80.0%	1,314	76.5%
田原本町	31,890	16,459	51.6%	11,559	36.2%	御杖村	1,587	1,278	80.5%	1,170	73.7%
御所市	25,525	13,833	54.2%	11,053	43.3%	野迫川村	369	305	82.7%	302	81.8%
山添村	3,471	1,910	55.0%	1,621	46.7%	上北山村	488	433	88.7%	426	87.3%
三宅町	6,842	3,769	55.1%	2,853	41.7%	計	1,353,837	579,855	42.8%	456,456	33.7%

全年代人口：令和2年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口

※接種率は、全人口を母数として計算しています。

※上記は、ワクチン接種記録システム（VRS）の数字を集計したものです。

# 市町村別全年代ワクチン接種率（8月10日現在）

## 【 市 】

## 【 町 】

## 【 村 】

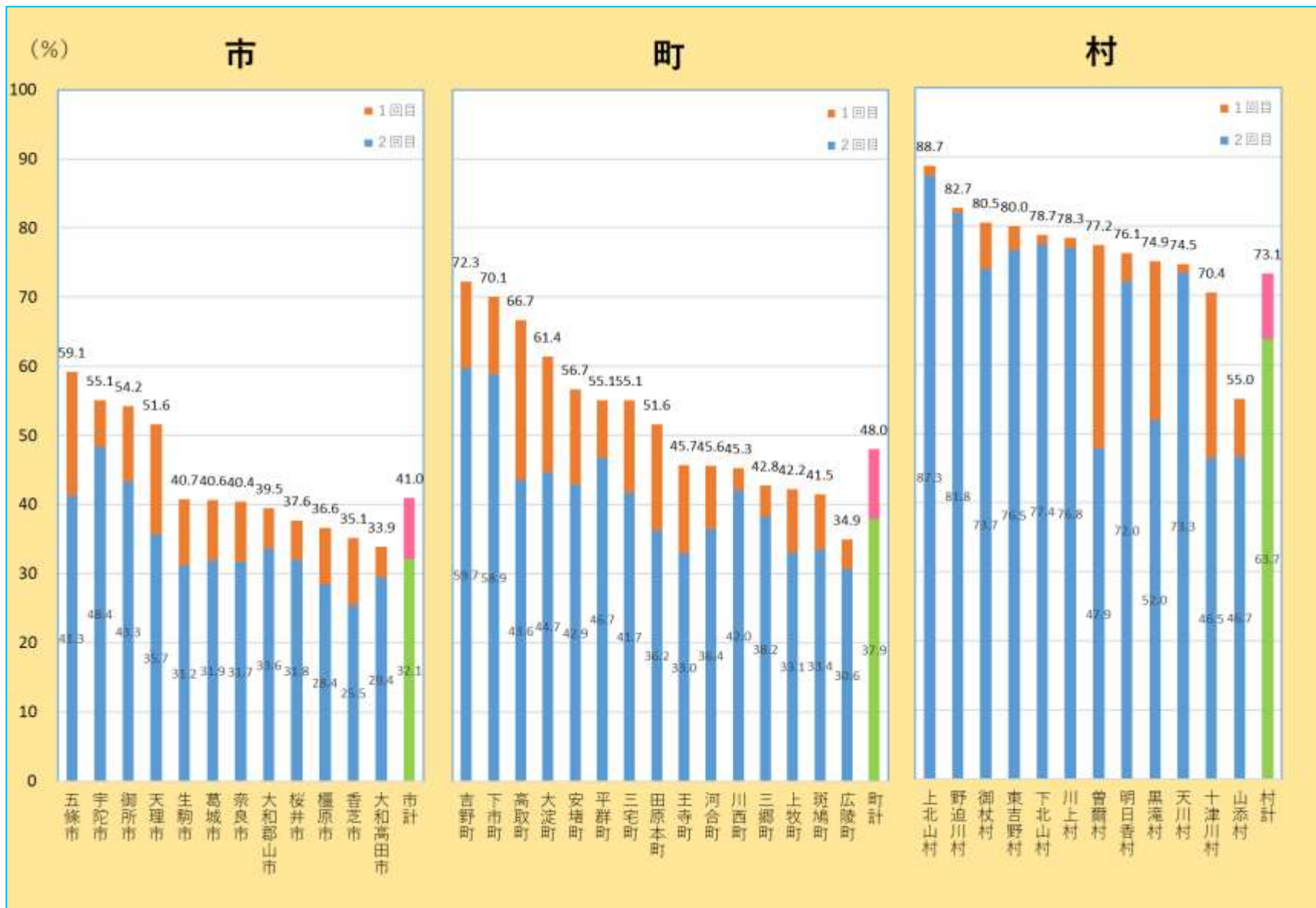
【接種率】	（％）	
市町村名	1回目 接種率	2回目 接種率
大和高田市	33.9	29.4
香芝市	35.1	25.5
橿原市	36.6	28.4
桜井市	37.6	31.8
大和郡山市	39.5	33.6
奈良市	40.4	31.7
葛城市	40.6	31.9
生駒市	40.7	31.2
天理市	51.6	35.7
御所市	54.2	43.3
宇陀市	55.1	48.4
五條市	59.1	41.3
市計	41.0	32.1

【接種率】	（％）	
市町村名	1回目 接種率	2回目 接種率
広陵町	34.9	30.6
斑鳩町	41.5	33.4
上牧町	42.2	33.1
三郷町	42.8	38.2
川西町	45.3	42.0
河合町	45.6	36.4
王寺町	45.7	33.0
田原本町	51.6	36.2
三宅町	55.1	41.7
平群町	55.1	46.7
安堵町	56.7	42.9
大淀町	61.4	44.7
高取町	66.7	43.6
下市町	70.1	58.9
吉野町	72.3	59.7
町計	48.0	37.9

【接種率】	（％）	
市町村名	1回目 接種率	2回目 接種率
山添村	55.0	46.7
十津川村	70.4	46.5
天川村	74.5	73.3
黒滝村	74.9	52.0
明日香村	76.1	72.0
曾爾村	77.2	47.9
川上村	78.3	76.8
下北山村	78.7	77.4
東吉野村	80.0	76.5
御杖村	80.5	73.7
野迫川村	82.7	81.8
上北山村	88.7	87.3
村計	73.1	63.7

※接種率は、全人口を母数として  
計算しています。

# 市町村別全年代ワクチン接種率（8月10日現在）



※接種率は、全人口を母数として計算しています。



# 新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮について

## — 差別や偏見をなくしましょう —

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方をはじめ、医療従事者やそのご家族、その方々が属する施設・機関などに対する差別的な言動や、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、差別、偏見、いじめなどは決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをのまないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。